

ジュニア賞

食品ロスを減らすために

久田 裕一朗（高校2年生：京都府）

今、日本には食品ロスが問題になっています。そもそも「食品ロス」とは、本来食べることができるのに捨てられてしまう食品のことです。今の日本の食品廃棄等は年間 2500 万トン どの中で本来食べれるのに捨てられる食品「食品ロス」の量は、年間 612 万トンになっています。日本の食品ロスの量は飢餓に苦しむ人々への世界の食料援助料が年間約 320 万トンであるのに比べて約 19 倍の数字になっています。612 万トンの食品ロスを大きく分けると「事業系食品ロス」「家庭系ロス」になりこの2つの食品ロスの数は事業系食品ロスは 328 万トン家庭系ロスは 284 万トンとなっています。

食品ロスを減らす為には家で食品ロスが出ないようにするだけでなく、食べ物を買う店、食べる店でも食品ロスを減らすことを意識することが大切です。例えば食べ物を買う店や食べる店では、奥から商品取らずに、陳列されている賞味期限の順番に買ったり包装資材ごと買う場合にちょとのキズ・汚れがあっても中身が問題なかったらそのまま買ったりして食品ロスを減らします。

けれどこれを今の大人の人たちがやるのは、限界があると思います。なので今の若者やこれからの生まれてくる子供に向けてクイズ形式のゲームをアプリとして配信し若者達に危機感を覚えてもらい少しでも食品ロスに目が行くようにしたいです。また食品ロス対策に特化したサイトを作り多くの世代に配信していくのもいいと思います。